

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度第4回朝霞市立朝霞第七小学校 学校運営協議会
開催日時	令和6年12月12日（木） 午後1時30分から午後3時00分まで
開催場所	朝霞市立朝霞第七小学校 1階 第2図工室
出席者及び欠席者 の職・氏名	学校運営協議会委員 6名 事務局 1名（朝霞第七小学校教頭） 欠席者 2名
議題	学校評価について
会議資料	・会議次第 ・学校評価結果
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間
	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法：委員長による確認	
傍聴者の数	傍聴者 0人
その他の必要事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

2 学校評価について

（委員）

タブレット端末の設定制限やファイリング等は大丈夫なのか。海外の教育であるが、タブレット端末に頼ることが多く学力が落ちていると聞く。タブレット端末に頼りすぎるのも、問題である。

（委員）

タブレット端末については、マイナス面も考慮する必要ある。導入時にはプラス面を打ち出し、活用を推進していたが、プラス面マイナス面の両方を考慮して慎重に活用していくことが求められる。

（委員）

保護書の意見に対して、どう返事をしていくのか。

（校長）

まずは、学校評価でいただいている意見をまとめ、集約、分析し、改善が認めるところや、教育委員会等と連携が求められるところ等確認する。その後、適切にフィードバックをしていく。評価項目についても数値を分析し3月に周知する。

（委員）

回収率が低い。これについてはどう考えるか。意味のある学校評価にする努力が必要である。

（委員）

回収率については別な面で考えることもできる。今の時代、親も情報過多になっている。出さない親は、学校に興味を持っていないとも考えられる。当然、何かあれば意見を言う。回収率を上げる必要もあるけど、出しているイニシアチブへの関心ともとれる。気になったのは、体育着の話等、先生方の情報共有についての意見である。教員や学級による対応の違いについては、平準化されたほうがいいのではないかと思う。子供の疑問が、親の疑問になり学校の不信感につながる。先ほどのＩＣＴについても、ルールがなく、道具だけが先に入り、人間が使われる側になっている。タブレット端末は便利だけど、問題も起きている。状況によっては、市政と教育委員会に問い合わせることも必要である。教える側よりも教わる方ができている実態もあるのではないか。

（委員）

プールは学校によって環境に差がある。どう対応していくのか。7月中は日中はもう入れない。暑さ対策も限界である。

（委員）

熱中症警戒アラートの指標は絶対なのか。だとすると、彩夏祭は踊っている。この状況はおかしいのでは？

（校長）

プールについては今年の夏も、校長会で検討し対応している。現場レベルでは可能な限り上手く運用できるように連携している。自治体では、敷地外のプール使用も検討されているようである。

(委員)

先生方独自で判断したルールは改善する必要ある。

(校長)

親の不満の前には、子供の不満があると考える。自由記述についての意見もあるが、それ以前に児童のアンケートの前年比が下がっている項目が多い。子供たちや先生方が頑張っている中、低い項目が多いのは残念である。